

厚木のいいところ
厚木の頼れる健康相談室『漢方の高野薬局』

今回は開局から55年の老舗、「漢方の高野薬局」をご紹介します。ドラッグストアなどのように、消費者が商品の説明を見て購入するという形ではなく、一人ひとりとじっくり話をし、その人に合った薬をご提案してくれる高野薬局さん。ゆったりとした居心地の良い相談スペースがあり、漢方を知らない方でも入りやすく、いろいろと相談したくなるような親しみ深い2代目オーナーの高野茂雄氏。「予防に勝る治療はなし」を信念に、今後も地域の健康相談室であり続けていきたい」と営業に対する想いを語ってくれました。

漢方ってこんなお薬

漢方は「上薬(じょうやく)」と呼ばれる薬で、「人を選ばない、人を傷(そこな)わない。自然治癒力を助けるよう働くもの」です。「効く」と「治る」は根本的に違います。高熱が出た場合は医者にもらう「治る方向に舵をとる即効性のある効く薬」、腰痛や便秘などは「自然治癒力を高めて治す薬」です。漢方はこの「治す薬」にあたります。日々使用する薬を上手に活用して、流行り病に負けない元気で快適な日常を過ごしましょう。



▶お店情報

漢方の高野薬局

■住所: 〒243-0016 厚木市田村町1-24(ヨークフーズのすぐ横です!)
■TEL: 046-222-3201 ■営業時間: 9:00~19:30 ■定休日: 日曜日



イベントやロケで使える屋上ガーデン!
Urban Garden 339

本厚木駅徒歩3分

フロア面積 約680㎡
の屋上スペース



RENTAL TIME

9:00 - 21:00 (休館日: 年末年始)

※ 夏季、冬季は時間短縮の可能性あり
※ 詳細は応相談可

RENTAL FEE

時間貸	平日	11,000円 / 時間
	土日祝	16,500円 / 時間
1日利用	平日	55,000円 / 日
	土日祝	82,500円 / 日

※表示価格は税込

NOTES

- ※ 最大定員60名以内のご利用をお願いいたします。
- ※ ご使用目的によってはご利用をお断りする場合がございます。
- ※ 備品につきましてはおたずねください。
- ※ 機器や機材の持込は可能です。
- ※ その他詳細につきましてはお問い合わせください。

ロケハン随時OK

アーバンガーデン339

〒243-0018 神奈川県厚木市中町3-3-9 厚木アーバンプラザ屋上

ロケハンのお申込やご予約はお電話で!!

◆ ご利用日2ヶ月前まで予約OK!

☎ 046-223-2442

電話受付時間(10:00~18:00)



URL: u-garden339.jp



L i v i s u t a S h i n b u n
りびすた新聞

Vol.91

2023年12・2024年1月号



【建設・不動産・ホテル・福祉・ビル管理・海外事業】

発行/コジマホールディングス 神奈川県厚木市栄町1-2-2 [TEL]046-221-4545 [FAX]046-221-7821 [E-mail]ribisuta@kojimagumi.co.jp

Monthly Topics

P1

| 「ウエインズパーク海老名」 竣工しました

P2

| ペビーノカフェ情報

| カンボジアニュース

P3

| グループニュース

P4

| 厚木のいいところ

| アーバンホテル情報



海老名市
中新田

トヨタ正規販売店 × アウトドア体験

『WEINS PARK 海老名』が竣工しました



10月17日、海老名市中新田で進めていました「ウエインズパーク海老名」が無事竣工を迎え、11月18日に新しい大型総合施設としてオープンしました。

こちらの施設は、ウエインズトヨタ神奈川様が運営し、新車販売、中古車販売、キャンプ施設を中心に、温浴/サウナ、焼肉「ほりにし」、スポーツカフェ、ドックカフェ、アウトドアショップなどのさまざまなアクティビティを1カ所に集結させた今までにない新しいコンセプトの総合施設となっており、県央エリアの新たな魅力となる施設が誕生しました。



総合施設名称 WEINS PARK 海老名 URL <http://weinspark.jp/ebina/>

アクセス 圏央道海老名IC隣接、JR相模線・小田急線厚木駅から徒歩10分

工事概要

住所: 神奈川県海老名市中新田3290-40

構造規模: S造、新車販売棟、U-BASE棟、駐車場棟、管理棟、コテージ棟

設計・監理: (株)電通ライブ 施工: 小島・人の森共同企業体

グループニュース

健康優良企業に認定されました

小島組は、健康保険組合連合会 神奈川連合会が行っている「かながわ健康企業宣言事業」に賛同し、「かながわ健康企業宣言」を行い、昨年に引き続き、令和5年10月1日、健康優良企業として認定されました。今後も社員の健康を増進させ、心身ともに健康で毎日生き生きと働ける職場づくりに取り組んでまいります。



建設業労働災害防止協会神奈川支部より表彰

11月7日、横浜市西公会堂で開催された第58回神奈川県建設業労働災害防止大会にて、安全衛生活動を活発に実施し建設業の安全衛生水準の向上に貢献したとして福岡圭一郎氏（環境土木部部長）と遠藤賢太郎（環境土木部専門部長）が、また、全工期無災害の優秀な成績をあげ、他の模範となる工事現場として「鶴嶺高校南棟改修及び耐震補強工事（建築）（所長 高城博之）」がそれぞれ選ばれ、表彰状を拝受致しました。ご指導・ご支援いただきました皆様に深く感謝申し上げますと共に、今後も安全に配慮した現場管理を目指して、社員一同邁進してまいります。



SDGsの取り組み 神奈川県が発行の「グリーンボンド」への投資について

小島組は、このたびSDGsの一環として、神奈川県が発行する「グリーンボンド」への投資を決定しましたので、お知らせいたします。グリーンボンドとは、環境改善のための事業に要する資金を調達するために発行する債券です。本債券の調達資金は、「神奈川県水防防災戦略」における河川・海岸・砂防に関する新たな事業資金として充当されます。当社は、持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを今後も推進してまいります。



職業インタビュー学習に協力しました

11月10日、南毛利中学校2年生の生徒さん6名が、職業インタビュー学習のために小島組に来社しました。小島組や建設業全体に対するシンプルな質問に私共も初心に戻る気持ちで対応させていただきました。また、施工実績をお答えすると、南毛利中学校の生徒さんも知っている建物に興味を持たれたようで、沢山の質問をしていただけてとても嬉しく思います。今回の学習で、建設業の役割ややりがい、魅力を知っていただくよい機会となりました。未来を担う生徒の皆さん達が、それぞれの将来について考えるきっかけになれば幸いです。



ペピーノカフェ
PEPINO Café

News Topics 東京農業大学「ペピーノ」ブランド化へ

東京農業大学・厚木キャンパスで研究が進められている南米原産の果物「ペピーノ」。このペピーノを厚木市のブランドにしようと、産・官・学が連携でプロジェクトを発足。このほど厚木市農産物等ブランド化推進事業交付金に採択され、その一歩を踏み出した。

ペピーノは、1983年にニュージーランドから果物として輸入され、栽培が始まるが、国産ペピーノは糖度が上がらず、定着はしなかった。東京農業大学・農学部農学科の高畑健教授は、全国の農業試験場や大学でペピーノの研究がされていないことに着目。15年ほど前からペピーノの栽培法や甘くする技術の研究を始め、2017年には「根量減少植物栽培方法」の名称で高糖度化の特許も取得した。高畑教授は普及活動のなか、知人を通じて（株）コジマホールディングスと出会い、同社では今年6月、厚木市中町にペピーノカフェをオープンさせている。さらなる普及をめざし、同大とJAあつぎ、厚木商工会議所、（株）コジマホールディングスを中心となりプロジェクトチームを結成。今年度の市農産物等ブランド化推進事業交付金にも採択された。「ペピーノが市の農産物のブランドのひとつになり、地域還元ができればうれしい」と高畑教授。今後は3カ年計画で、成分調査や試験栽培、企業視察や商品化、ブランド化に向けたPR活動などを行っていく予定。



※この記事は「10月20日発行厚木・愛川・清川版タウンニュース」より一部抜粋して掲載しています



〒243-0018 神奈川県厚木市中町3-3-9 厚木アーバンプラザ 1階
営業時間 ▶ 8:00-17:00 (月～金曜日)
10:00-17:00 (土・日・祝日)
6:00-23:00 (自動販売機・冷蔵庫エリア)



カンボジアニュース

9/29 カンボジア開発青年企業家協会の皆さんをお迎えしました



来日中のカンボジア開発青年企業家協会のメンバーをお迎えして、日本の若手経営者方とのビジネスミーティングが開催されました。在日カンボジア大使館から労働省参事官も参加されました（厚木アーバンホテルにて）。不動産、ハイテク機器、人材派遣等についての意見交換がなされ、有意義な時間となりました。

9/30 カンボジア チャリティーイベント



NPO法人・在日カンボジアコミュニティ主催（コジマホールディングス協賛）のもと、「カンボジア・チャリティーイベント」が開催されました（アーバンプラザ6階Urban Garden 339にて）。在日カンボジア大使はじめ大使館メンバーやカンボジア開発青年企業家協会のメンバーもご参加下さり、大変賑やかなイベントとなりました。秋風が心地よく、皆さんバーベキューを楽しんでおられました！（収益金はカンボジアの貧困家庭の子供達と障害センターに入居している家族達に寄付されました。）